

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	給食室等改修事業			会計	款	項目	大	小
				01	10	06	05	01 55
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	教育総務課			
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	長橋 祐之			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	小中学校の給食関係職員	意図	施設及び設備の大規模な改修による給食を安全に提供できる施設・設備の維持・保全
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 給食施設及び設備の大規模な破損、不良個所の修繕 床面の改造、給水・給湯管の布設替え等 			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> 主に小破修繕で対応できない規模、内容について対応 改修箇所数や規模が増加、増大傾向にある。 労働安全委員会からの労働環境改善のための施設、設備改善の要請も増加 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 改修施設数	1	1	1	件	↓↓↓	
	②						
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・改修要請について、技術的、衛生、労働安全の各側面での検証、計画の実施が必要。 ・根本的な改造が、実施できない状況下における改修可能内容は限定的である。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,361,370	1,218,200	5,440,200			
事業費(b)(円)		1,291,500	1,080,000	4,687,200			
うち一般財源		1,291,500	1,080,000	4,687,200			
職員給与費(c)(円)		69,870	138,200	753,000			
人役・職員(人)		0.01	0.02	0.10			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	小破修繕で対応できない不良個所について、長期休業（夏休み）に改修を実施	③取組の課題	老朽化及び施設の時代遅れが進行している。対症療法的な対応については、限界に近い。引き続き都市ガスへの切替による光熱水費の削減。
②今年度(H27)に実施した取組	中学校給食室の屋根防水改修工事	④今後の改善計画	事後保全から予防保全への切替を目指し、計画的な維持管理を実施していく。